

罹らないと うつさない



発行 社会医療法人岡村一心堂病院

作成担当部門：広報部

岡山市東区西大寺南2-1-7 Tel 086-942-9900

Homepage URL : <http://www.issin.or.jp/>

発行日：2020年3月31日（火）

年始を迎えた時には、予想もしなかった形で、現在、「新型コロナウイルス感染症」が世界中で猛威を振るっています。みなさんもお存じの通り、未だにマスクが不足しており、開店前のドラッグストアに人が並び、開店と同時に完売してしまうのが実情です。当院においても、決して余裕のある状態ではなく、制限と工夫を行いながら運用しています。過日、患者さんよりこのようなご意見をいただきました。

「病院の職員でマスクをしていない人がいますがどうなのでしょう？」

ご意見をいただきありがとうございます。まずは御礼申し上げます。早速ですが、お答えをさせていただきます。当院では、現在のマスク不足の状況を鑑み、患者さんの対応を行う職員を優先してマスクを使用しています。また、毎朝の体温測定を行っており、体調の悪い職員は就業させておりません。このことのみで、何かが感染するかもしれないということはありませんのご安心ください。

当院には院内感染対策委員会という組織があります。ざっくりと説明すると、院内感染を予防する活動を行う一方、万が一、不測の事態が発生した際には、収束、制圧にむけての取り組みを行う専門職からなる組織です。この委員会にいただいたご意見について問い合わせしてみました。マスクが無い場合でも大事なことは次のことだということです。是非、みなさんもお参考になさってください。

マスクが無い時でも

『首から上に手を持っていかない！』

意外と多いことなのですが、無意識に顔を触る人は多いそうです。ふと考えにふけた時に、ついつい手が口元に……。なんて経験はないでしょうか？手指に細菌やウィルスがついた状態で、顔、特に目、口、鼻を触ることによって体内に入ることもあります。必要なタイミングでの手洗いも大切ですが、あわせて『首から上に手を持っていかない』ことも大切になります。これは意識することによって変えられることです。



みなさんご存じの通り

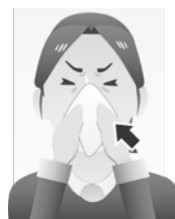
『3つの正しい咳エチケット』 厚生労働省ホームページより

報道などはじめ、さまざま取り上げられていますので、みなさんもよくご存じかもしれませんが、人にうつさないためには、咳やくしゃみのしぶきを飛ばさないことが大切になります。そのために、咳エチケットが大切になります。

厚生労働省による
3つの咳エチケット



1. (品薄ですが) マスクをする。



2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。



3. 上着の内側や袖(そで)で覆う。

こんな時だからこそ、みんなで意識を高めて乗り越えましょう。